



漁海況通信

長崎県総合水産試験場 漁業資源部 海洋資源科

〒851-2213 長崎市多以良町 1551-4 電話 095-850-6304 FAX 095-850-6346

ホームページアドレス <https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>

五島海区におけるキビナゴの資源評価

五島海区におけるキビナゴの資源水準は**低位**、動向は**横ばい**と判断されます

I. 漁獲量の動向および資源評価

五島海区におけるキビナゴ漁獲量は近年 800 トン前後で推移していましたが、令和4年の漁獲量は 795 トンで前年 (876 トン) 並み、平年 (841 トン) 並みでした (前年比 90.8%、平年比 84.5%) (図 1)。令和4年のキビナゴ月別漁獲量は、1~5 月、10~12 月は平年並み、8~9 月は平年より少なく推移しています (図 2)。8~9 月に漁獲量が減少した理由として、台風等時化により沿岸への接岸がみられず、操業を控えたこと等が挙げられます。

※ 過去5年間の平均値 (平年) より 20%以上上回った場合を「多い」、下回った場合を「少ない」、±20%以内を「平年並み」としました。

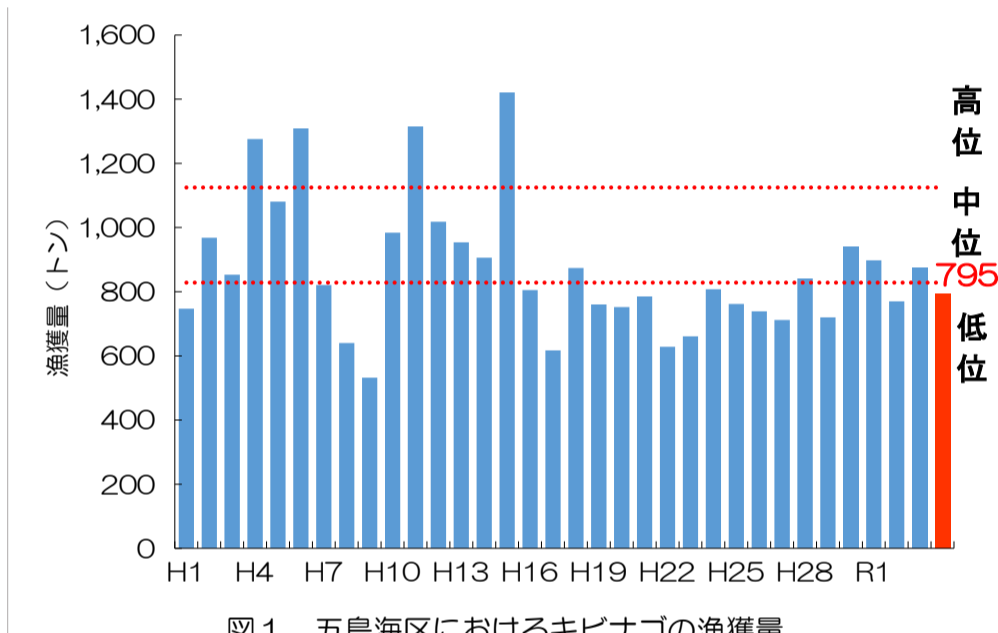


図1 五島海区におけるキビナゴの漁獲量 (H18 までは農林水産統計年報、それ以降は推定値)

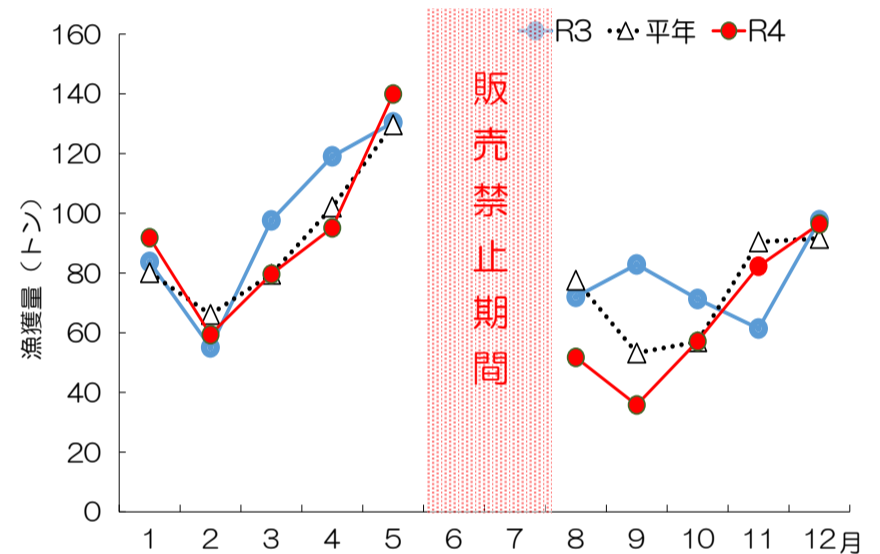


図2 五島標本漁協におけるキビナゴ月別漁獲量

五島海区におけるキビナゴ漁獲量から資源状況を評価すると、令和4年におけるキビナゴの資源水準は**低位**にあり、過去5年間の動向から**横ばい**と判断しました (図 1~2)。

※ 資源水準：H1~R3 の漁獲量の最大値と最小値の間を3分割し、828 以下を低位、828~1,125 を中位、1,125 以上を高位としました。

※ 資源動向：過去5年間の漁獲量の平均値より 20%以上下回った場合を「少ない」、上回った場合を「多い」、中間を「横ばい」としました。

II. 近年の産卵期の特徴

これまでの研究事例では、五島海区におけるキビナゴの産卵期は 6~9 月と考えられています。直近 5 ヶ年の産卵期を見ると、平成 30 年~令和元年は 7 月~9 月まで、令和 2 年は 5 月~10 月、令和 3 年~4 年は 6 月から成熟したキビナゴが確認される等、産卵期に若干の年変動が生じています (図 3)。

生殖腺指数は、キビナゴの体重に対する卵巣・精巣の重さの割合を指標にしたものです。卵巣・精巣が発達したキビナゴが多い月に色をつけています。

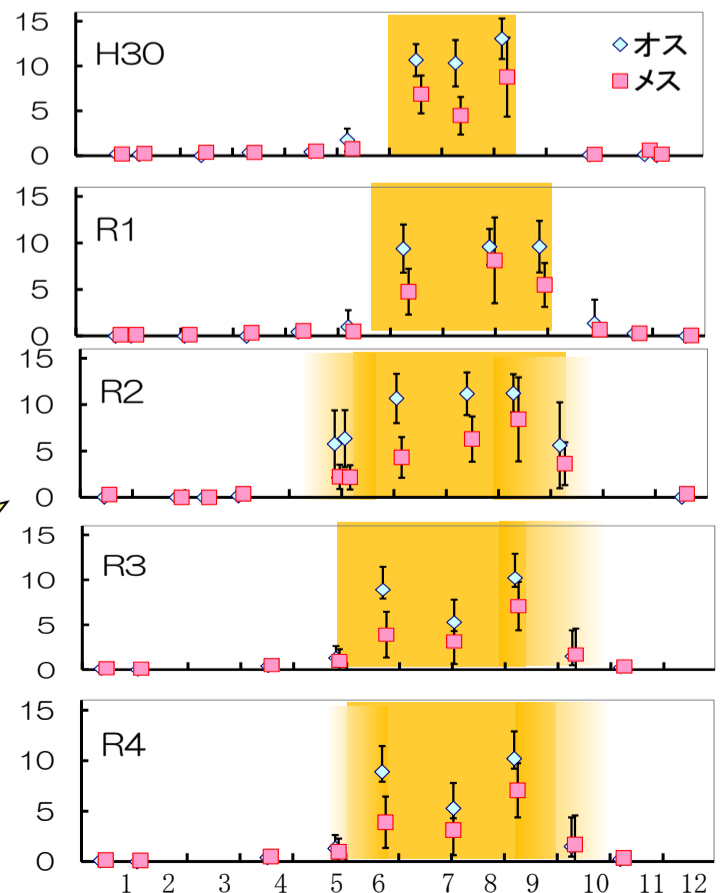


図3 生殖腺指数の月別の推移